

# キリストへの時間

「キリストへの時間」協力委員会報

## 「論じ合おうと呼びかける神」

済美高等学校宗教主事 西島麻里子

『それゆえ、わたしの主が御自ら あなたたちにしるしを与えられる。見よ、おとめが身ごもって男の子を産み その名をインマヌエルと呼ぶ。(イザヤ書7:14)』で有名なイザヤ書から、クリスマスの意味を考えてみたいと思います。

イザヤ書の始まりとなる1章は、歴代の王たちの名前を挙げ、政治批判、道徳批判、さらには礼拝批判が語られ、「善を行うことを学び 裁をどこまでも実行して 搾取する者を懲らし、孤児の権利を守り やもめの訴えを弁護せよ(イザヤ書1:17)」と厳しく断罪します。ここには、クリスマスを待ち望むアドベントや、クリスマスの時にはそぐわないような違和感があります。

しかし、クリスマスの出来事そのものが、今現在私たちがお祝いをするような状況ではなかった、と聖書を知る方はご存知かと思います。例えば、許嫁のヨセフがいるのに聖霊によって身ごもってしまったマリヤは、婚前に妊娠した事が公になれば石打の刑で死刑になります。そして、そんなことがないようにと、その事実を受け入れてマリヤを守ったヨセフの決意があっても、人口登録で生まれ故郷のベツレヘムに戻れば、親戚がいるはずなのに、身重のマリヤを心配して泊めてくれる親戚もいなければ、宿屋もないのです。イエス・キリストが家畜小屋で生まれて「おめでとう！」と言ってくれたのは、貧しい羊飼いと外国人の博士たちです。生まれ故郷に戻ったというのに、親戚も近所の人もここには登場しません。まるでアウェイな状況です。何だかお祝いムードとは違う・・・クリスマスの出来事にある違和感。これは何だろう、と思います。

だからです、イザヤ書1:18は『論じ合おうでないか、と主は言われる たとえ、おまえたちの罪が緋(意味:赤色)のようでも雪のように白くすることができる。 たとえ、紅のようであっても 羊の毛の

ようになることができる。 お前たちが進んで従うなら 大地の実りを食べることができる かたくなに背くなら、剣の餌食になる。 主の口がこう宣言される。』とこの違和感を論じよう、と神が私たちに呼びかけます。

けれども、残念ながら神がどんなに呼びかけようとも、人間の側は「神は死んだ」とある哲学者が語ったように、神と全く議論にならないのです。そのため、神はこの違和感を解決するために、他者を自分のように愛する生き方を貫いたイエス・キリストをこの世に送った、これがクリスマスの意味するところではないでしょうか。クリスマスに生まれたのは、友なき人の友となり、挙げ句の果てに自分の命をも捧げて、イザヤ書1章にある神の怒りや、自分のことしか考えない自己中心性の罪から私たち人間を救いたいと願われ、十字架刑にかかれた方、イエス・キリストです。

でも、思い出してください。私たちは自分が思っているほど無関心でもないし、自分のことしか考えない冷たい嫌な人でもないのです。イエス・キリストの足下にも及ばないとは言え、誰もが、優しさや愛を持っています。優しい心の持ち主である自分を思い出し、愛を取り戻して下さい。周囲への関心を待ち、自分の優しさを行動で現すときが、アドベントの一ヶ月間であり、クリスマスです。周囲に対し、自分のできる範囲で愛ある生き方をしてみませんか。お金はなくても、他者に親切な“愛のある生き方ができる自分”を誇らしく思うことでしょう。そして、おや、他者に親切な愛のある生き方をしていると、いつの間にか周囲から愛され、モテモテになっていることではないでしょうか。イエス・キリストの愛ある生き方が2000年の時を超えて現在も私たちを魅了するように、愛は永遠に滅びることはありません。愛は愛の実りをもたらします。

## 「ぶどうの房を損なうな」

日本キリスト改革派教会引退教師 望月 明

**「主はこう言われる。ぶどうの房に汁があれば、それを損なうな／そこには祝福があるから、と人は言う。わたしはわが僕らのために／すべてを損なうことはしない。」**

(イザヤ書第 6 5 章 8 節)

おはようございます。今朝は、ただ今の聖書の御言葉から、神様がわたしたちを大切にお取り扱ってください、わたしたちもまたお互いを大切にするべきことをお話しさせていただきます。

8 月も半ばになると「ぶどう」が出てまいります。山梨県に育ったわたしの大好きな果物は、ぶどうです。

最近、コロナ禍のこともあり、人と人との関係がギスギスしています。仲のいい人、趣味の合う人に対しては仲良く大切にします。反対に、話しかけても答えてくれないような人に対しては、嫌な思いがして「なんだ、あいつ、嫌な奴だ」と切って捨てがちです。自分の考えに同調してくれない人や、自分の示す好意や親切に応えてくれない人に会おうと腹が立ち、遠ざけたり、無視したりしてしまいます。店頭で並んでいるぶどうは、大粒でつやつやとしています。皮をむいて食べる。皮のまま呑み込む。すると甘い汁がジワッと口の中一杯に広がります。「ああ、幸せ」そんな思いがします。しかし、全てのぶどうがそうなのではありません。店頭で並ばないぶどうもあります。外見で棄てられるものもあります。

ここで、預言者イザヤによって語られているぶどうの房は、実はわたしたちが捨ててしまうような見栄えのしないぶどうなのです。新共同訳では普通に「ぶどうの房」とだけ訳していますが、ある旧約学者は「萎びたようなぶどう」と訳しています。干からび、萎びたようなぶどうの房を指しているのです。萎びたぶどうは「こんなの、駄目」と言って捨てられてしまう。取り入れもしないで放置してしまいます。

預言者イザヤは、萎びたようなぶどうにも実は甘い汁があり、「それを破るな、損なうな。その中に祝福

があるから」と教えているのです。旧約聖書で「ぶどう」は、神の民イスラエルを表しています。この萎びたぶどうは、罪によって棄てられても仕方のないイスラエルの民を表しています。しかし、神はこのようなぶどうの房を「棄てない」と言われるのです。どんなにつまらないと思われるものの中にも尊い価値が潜んでいるからです。

わたしたちは、人を外見や人種、民族、美醜、能力などで判断することがあるのではないのでしょうか。しかし、自分の好き嫌いなどの感情に動かされて、人を切り捨てることのないように心がけたいものです。神は、どんな人の中にもすばらしい価値を与えておられるのです。病み、年老い、課題を抱えて生きるわたしたちをも、神は「あなたは大事だよ」と言っておられます。その人の中にある固有の価値を見ておられるのです。

ぶどうには「貴腐ぶどう」というものがあります。一見すると、霜に当たって萎びたように見えます。しかし、その萎びたような貴腐ぶどうから出来るぶどう酒は絶品だと言われています。残念ながら、わたしもまだ飲んだことはありません。萎びて捨てられるようなぶどうの房はわたしたちの姿です。しかし、神は、病み、年老いたわたしたちを貴腐ぶどうのように大切に切り扱って下さいます。わたしたち一人ひとりを、見捨てないで大切に生かして用いて下さいます。ぶどうの房を見る度に、人を切り捨てることをなさらない神の愛を深く知ってまいりたい、と願っております。



## 献金と共に神様に聴く

「キリストへの時間」会計担当  
 (日本キリスト改革派犬山教会信徒) 青山昭一郎

「キリストへの時間」は、恵まれて、1952年10月27日に放送が始まり2022年10月で70周年を迎えます。これまでに多くの兄弟、教会、金城学院、名古屋学院、岐阜済美学院から献金が献げられ、今日に至っています。

今年度は、繰越が80万円できましたので、電波料の一月30万円は、今のところ満たされています。皆様の献金により支えられ、ラジオ放送が継続できますこと、本当に感謝です。必要を満たして下さる主に委ねて行きたいと思えます。

私たちの人生は、いつも順風満帆というわけには行きませんが、平穏無事な日もあります。時には暴風雨にさらされることもあります。例えば、愛する人が重い病気になったり、事故にあったりします。そういう身近な人々のことだけではありません。私たち自身が、どうしてよいか分からないような苦境に追い込まれることもあります。

しかし、目に見える地上での世界だけがすべてではないと知っている、いや、知らされている私たちには、違った生き方があると思えます。それは、主イエスが成し遂げて下さった恵みに目を注ぐことであり、信じることです。

サムエル記3章9節『主よ、お話し下さい。僕は聞いております。』とサムエルが祈りましたように、神様のお赦し、神様の約束の御言葉を日毎に聴いて歩む生活です。

日毎に祈ることによって日々新しくされます。そのことなしに激しく揺れ動く今の時代を力強く生き抜くことはできません。私たちは、全身全霊をあげて「御名があがめられますように」と祈るとき、自分が小さく小さくなっていき、神様が文字通り王座を占めます。この「私」がなくなり、「御名」すなわちイエス・キリストの父なる神様がすべてのすべとなります。

今日、私たちの信仰生活において、主の言葉が日毎に聴かれているのでしょうか。「神様に問い、神様に

聴く」このことを持てずして、私たちは決して立ち上がることはできません。『ただ、お言葉を下さい』こう言って朝毎に主を求めることこそ、私たちの信仰の原点ではないでしょうか。

もう二度と戻ってこない今日と言う大切な一日、二度と繰り返すことのできない一回限りの貴重な一日を選択するのは私たち自身です。

いつも共にいて下さる神様のみ言葉、愛をお届けできるように、そして、ラジオ放送を待っていて下さる皆様に喜んでいただけるよう、心をこめて『キリストへの時間』に取り組んで行きたいと思えます。神様のご計画が大きく花開くことを期待しております。

コロナ禍にあります。一日も早い収束と、皆様のご健康が守られますようにお祈りいたします。

「兄弟たち、喜びなさい。完全な者になりなさい。励まし合いなさい。思いを一つにしなさい。平和を保ちなさい。そうすれば、愛と平和の神があなたがたと共にいてくださいます。」

(Ⅱコリント13章11節)



## レスポンス紹介

求道者の方、病や様々な理由で教会生活から離れておられる方、コロナ禍でご自分の教会へ通うことが困難になっている方など、お便りの一部分を抜粋してご紹介いたします。

「毎週拝聴させていただくようになり、一年程になります。以前より聖書には興味がありましたが、まだ読んだことがないので、聖書を希望します。」(岐阜県在住の方より)

「小生、70才を過ぎていますが、キリスト教に興味を持ち・・・聖書が必要と思われるため、希望しました。」(愛知県在住の方より)

「コロナ禍もあいまって、自らの信仰も揺らぎました

が、貴番組をはじめとするラジオ番組の助けもあり、何とか立ち返れそうです。」(東京都在住の方より)

「radikoで番組を知り、聴きはじめて1か月になります。もともと教会に通っていましたがコロナのため動画で礼拝を守っています。」(東京都在住の方より)

この他にも多くのお便りを頂いています。

初めて聴く方が求道者とされ、求道者の方がキリストの体なる教会へと繋げられ、信徒の方々が励まされて信仰を回復される・・・放送がそのように用いられていることを、お便りを通して知らされています。感謝。

「キリストへの時間」協力委員 「キリストへの時間」協力委員  
レスポンス担当(日本基督教団名古屋北教会牧師) 山田詩郎



## 「キリストへの時間」放送予定 2021年7月～12月

### 1月

2日 太田 信吉(日本基督教団瀬戸永泉教会信徒)  
9日 太田 信吉(日本基督教団瀬戸永泉教会信徒)  
16日 太田 信吉(日本基督教団瀬戸永泉教会信徒)  
23日 金森 淑英(日本基督教団豊山教会信徒)  
30日 金森 淑英(日本基督教団豊山教会信徒)

### 2月

6日 小室 尚子(金城学院学院長・学長・宗教総主事)  
13日 小室 尚子(金城学院学院長・学長・宗教総主事)  
20日 落合 建仁(金城学院大学宗教主事)  
27日 落合 建仁(金城学院大学宗教主事)

### 3月

6日 金原 義信(日本キリスト改革派豊明教会牧師)  
13日 金原 義信(日本キリスト改革派豊明教会牧師)  
20日 後登 雅博(日本キリスト改革派高蔵寺教会牧師)  
27日 後登 雅博(日本キリスト改革派高蔵寺教会牧師)

### 4月

3日 小林 光(日本基督教団熱田教会牧師)  
10日 小林 光(日本基督教団熱田教会牧師)  
17日 辻 秀治(日本基督教団桑名教会牧師)  
24日 辻 秀治(日本基督教団桑名教会牧師)

### 5月

1日 久保田 証一(日本キリスト改革派尾張旭教会牧師)  
8日 久保田 証一(日本キリスト改革派尾張旭教会牧師)  
15日 山下 正雄(日本キリスト改革派教会大会メディア伝道局牧師)  
22日 山下 正雄(日本キリスト改革派教会大会メディア伝道局牧師)  
29日 相馬 伸郎(日本キリスト改革派名古屋岩の上教会牧師)

### 6月

5日 沖崎 学(金城学院高校宗教主事)  
12日 沖崎 学(金城学院高校宗教主事)  
19日 北川 美奈子(金城学院中学校宗教主事)  
26日 北川 美奈子(金城学院中学校宗教主事)

キリスト教や聖書についてご質問のあるかた、この放送についてのご意見ご感想のあるかたは、以下にお便りください。また、ご希望の方には新約聖書を無料でお送りいたします。

〒461-8691 名古屋東郵便局私書箱170「キリストへの時間」まで

CBC ラジオ「キリストへの時間」(1053kHz) 毎週日曜日 朝6時30分～6時45分放送

郵便振替 00880-1-70404・キリストへの時間